

季節と生物・要点のまとめ =テスト=

氏名( )

- タンポポには、昔から日本にあったカントウタンポポなどと、( )植物のセイヨウタンポポがある。
- タンポポの花は、( )が当たると開く性質をもっている。
- タンポポのように、たくさんの花が集まって1つの花のように見える花を( )という。
- タンポポの花びらは、( )まいの花びらがくっついたもの[( )花という]。
- タンポポのめしべは、( )本だが、先が( )つに分かれている。
- タンポポのおしべは( )本。
- タンポポのがくは( )になっている。
- タンポポには( )個の子ぼうがある。子ぼうは成長して( )になる。
- タンポポのたくさんの花を包んでがくのように見えるものを( )という。セイヨウタンポポは、この部分が( )
- タンポポの花茎が立ち上がる時期は2回あり、1回目は( )1～2日前。2回目は( )ころ。
- カントウタンポポなどは、おしべの( )でつくった( )が、めしべの先について( )すると、( )が成長して( )になる。
- タンポポは、地面に葉を広げた( )の状態でごしをする。
- 次の植物のあとのかっこに、長日植物なら「長」、短日植物なら「短」その他は「他」を入れなさい。…ヒマワリ( ), コスモス( ), キク( ),  
ダイコン( ), イネ( ), トマト( ), ホウレンソウ( )
- 春の七草をすべて答えなさい。…( . . . )
- チューリップの花は、( )が上がると開く性質をもっている。
- 秋の七草をすべて答えなさい。…( . . . )
- 次のこん虫のあとのかっこに、たまごで冬ごしなら「た」、よう虫なら「よ」、さなぎなら「さ」、成虫なら「せ」を入れなさい。  
…バッタ( ), モンシロチョウ( ), カブトムシ( ), キチョウ( ),  
アゲハ( ), カマキリ( ), コオロギ( ), ミツバチ( ),  
セミ( ), ナナホシテントウ( )
- ( )は、他の鳥に自分のひなを育てさせる。  
これを、( )という。
- ( )などの夏鳥は、秋になると( )の国へわたっていく。
- ( . . . )などの冬鳥は、北の国からわたってきて冬をこす。
- ( )のように山で生活していた( )は、平地へおりてくる。
- 冬眠をする動物は、体温が一定の( )型、冬眠中は体温が下がる( )型、気温とともに体温も変化する( )型に分かれる。

季節と生物・要点のまとめ =解答=

- タンポポには、昔から日本にあったカントウタンポポなどと、( **帰化** )植物のセイヨウタンポポがある。
- タンポポの花は、( **光** )が当たると開く性質をもっている。
- タンポポのように、たくさんの花が集まって1つの花のように見える花を( **頭花** )という。
- タンポポの花びらは、( **5** )まいの花びらがくっついたもの[( **合弁** )花という]。
- タンポポのめしべは、( **1** )本だが、先が( **2** )つに分かれている。
- タンポポのおしべは( **5** )本。
- タンポポのがくは( **かん毛** )になっている。
- タンポポには( **1** )個の子ぼうがある。子ぼうは成長して( **実** )になる。
- タンポポのたくさんの花を包んでがくのように見えるものを( **総ほう** )という。セイヨウタンポポは、この部分が( **そり返っている** )。
- タンポポの花茎が立ち上がる時期は2回あり、1回目は( **花が開く** )1～2日前。2回目は( **実がじゅくす** )ころ。
- カントウタンポポなどは、おしべの( **やく** )でつくった( **花粉** )が、めしべの先について( **受粉** )すると、( **子ぼう** )が成長して( **実** )になる。
- タンポポは、地面に葉を広げた( **ロゼット** )の状態ですごしをする。
- 次の植物のあとのかっこに、長日植物なら「長」、短日植物なら「短」その他は「他」を入れなさい。…ヒマワリ( **他** ), コスモス( **短** ), キク( **短** ),  
ダイコン( **長** ), イネ( **短** ), トマト( **他** ), ホウレンソウ( **長** )
- 春の七草をすべて答えなさい。…( **セリ** ・ **ナズナ** ・ **ゴギョウ** ・ **ハコベラ** ・ **ホトケノザ** ・ **スズナ** ・ **スズシロ** )
- チューリップの花は、( **温度** )が上がると開く性質をもっている。
- 秋の七草をすべて答えなさい。…( **ハギ** ・ **ススキ** ・ **クズ** ・ **ナデシコ** ・ **オミナエシ** ・ **フジバカマ** ・ **キキョウ** )
- 次のこん虫のあとのかっこに、たまごで冬ごしなら「た」、よう虫なら「よ」、さなぎなら「さ」、成虫なら「せ」を入れなさい。  
…バッタ( **た** ), モンシロチョウ( **さ** ), カブトムシ( **よ** ), キチョウ( **せ** ),  
アゲハ( **さ** ), カマキリ( **た** ), コオロギ( **た** ), ミツバチ( **せ** ),  
セミ( **よ** ), ナナホシテントウ( **せ** )
- ( **カッコウ** )は、他の鳥に自分のひなを育てさせる。  
これを、( **たく卵** )という。
- ( **ツバメ** )などの夏鳥は、秋になると( **南** )の国へわたっていく。
- ( **ハクチョウ** ・ **ガン** ・ **カモ** )などの冬鳥は、北の国からわたってきて冬をこす。
- ( **ウグイス** )のように山で生活していた( **漂鳥** )は、平地へおりてくる。
- 冬眠をする動物は、体温が一定の( **クマ** )型、冬眠中は体温が下がる( **コウモリ** )型、気温とともに体温も変化する( **カエル** )型に分かれる。